

蘇るSHOKUⅢ

古の職人技

2017
4/22(土)~7/2(日)

「食」「色・飾」に引き続き、「蘇るSHOKU」の第3弾として、
今回は「職」をテーマに、鍛冶、石工、焼き物、織る、編む、
木製品、骨・貝製品などの出土品にみられる加工技術や製作技法
など、古の職人技を紹介します。

企画展講演会

日 時／5月13日(土)午後1時30分～午後3時

演 題／民俗学からみる考古資料

講 師／民俗学者、元鹿児島大学法文学部 教授 下野 敏見 氏

場 所／展示館多目的ルーム

定 員／80人程度(要事前申込み)

資料代／100円 ※講演終了後、希望者を対象に企画展示室でギャラリートークを行います。
(ただし、別途展示館利用料金が必要)

4月から県内にお住まいの70歳以上の方は、入館料が無料になりました。
※年齢等を確認できる書類が必要です。

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団
上野原縄文の森
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号
TEL:0995-48-5701 FAX:0995-48-5704

上野原縄文の森 案内

■開園時間 午前9時～午後5時
■休園日 毎週月曜日(休日に当たる場合はその翌日)
■利用料金 小・中学生 150円(120円)
高・大学生 210円(160円)
大人 310円(240円)
()は20人以上の団体料金

■主催 上野原縄文の森
鹿児島県立埋蔵文化財センター、(公財)埋蔵文化財調査センター
■共催 南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、
KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、
朝日新聞社
■写真提供 吉留(俊) 仏壇店、(公社)鹿児島県特産品協会

くすもと
楠元遺跡(薩摩川内市)木製品

上野原縄文の森15周年

上野原縄文の森
第48回企画展

よみがえ

まえぱる
前原遺跡(鹿児島市)深鉢【重要文化財】

きりきみみとり
桐木耳取遺跡(曽於市)剥片尖頭器

川辺仏壇(伝統的工芸品)

やどん
屋鈍遺跡(大島郡宇検村)貝符

みやのうえ
宮ノ上遺跡(南九州市)石核

よみがえ 蘇るSHOKUⅢ

上野原縄文の森15周年

上野原縄文の森
第48回企画展

いにしえ 古の職人技

2017
4/22(土)~7/2(日)

職人技が発揮されるのは、長年の経験で培われ受け継がれた高度な技術はもとより、それぞれの材質の特性を熟知し巧みに活かしていることがあります。

今回の企画展では、「蘇るSHOKU」の第3弾として、「職」をテーマに鍛冶、石工、焼き物、織る・編む、木製品、骨・貝製品などにみられる古の職人技を紹介するとともに、伝統的工芸品も併せて展示することで、現代につながる鹿児島のモノづくりの原点を探る機会にします。

展示のポイントを
縄文の森キャラクター「じょうもんくん」
が紹介します!

企画展ギャラリートーク

企画展開催中に展示の解説を行います。

日時／開催中の第1・第3日曜日
(10:30~, 14:30~)
会場／企画展示室 *各回30分程度

鹿児島県上野原縄文の森

霧島市国分上野原縄文の森1番1号

